

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2003年5月27日

2003年5月25日現在：

5月25日に終わる1週間の平均農作業日数は、5.0日（前週：3.1日）であった。平均気温は各地で平年を下回った。降水量は地区により差があったものの、全州にて記録された。北西地区が最も少なく、1週間の降雨量は0.08インチであった。他地区では0.15～0.29インチであった。土壌水分は前週に引き続き改善した。

5月25日現在、硬質春小麦の播種は84%の圃場にて終了し（昨年同期：85%、5年平均：83%）、デュラム小麦の播種は69%にて終了した（昨年：66%、昨年同期：68%）。硬質春小麦は65%が出芽した。昨年並びに平年より早い進捗である。平年より早く播種期を迎えたが、5月中旬の降雨と低温の為、播種作業に遅れが生じ、進捗は略平年並みの状態と成った。硬質春小麦の作柄は84%が Good～Excellent と評価された。

土壌水分：

Topsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	0	5	80	15
Last week (%)	1	3	70	26
Last year (%)	8	23	67	2
Average (%)	6	16	67	11

Subsoil

This week (%)	4	13	69	14
Last week (%)	4	13	67	16
Last year (%)	5	24	68	3
Average (%)	4	15	69	12

Average: 1998～2002年平均

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-year avg.
Durum				
Planted (%)	69	39	66	68
Emerged (%)	39	20	20	39
Jointing (%)	1	NA	1	1
HRS wheat				
Planted (%)	84	68	85	83
Emerged (%)	65	49	37	58
Jointing (%)	4	NA	3	6

Source: North Dakota Agricultural Statistics Service

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃: E-mail ogawa.max@omicnet.com